

## 第二東京弁護士会入会審査 質問事項書

弁護士法第12条第1項は、心身の故障があり弁護士の職務を行わせることがその適正を欠くおそれがあるときは、弁護士会は資格審査会の議決に基づき登録又は登録換えの進達を拒絶することができるものと定めております。

そこで、以下の質問事項へのご回答にご協力いただきたく、お願い申し上げます。

心身の故障等の有無（☐に☒してください）

☐有（☐成年被後見人又は被保佐人である ☐その他の心身の故障がある）

☐無

令和2年 12月 17日

署 名

印

＊参考＊

### 「弁護士法」抜粋

#### 第12条1項1号

弁護士会は、弁護士会の秩序若しくは信用を害するおそれがある者又は次に掲げる場合に該当し弁護士の職務を行わせることがその適正を欠くおそれがある者について、資格審査会の議決に基づき、登録又は登録換えの請求の進達を拒絶することができる。

(1) 心身に故障があるとき。

### 「第二東京弁護士会会則」抜粋

#### 第8条

本会に入会しようとする者が、新たに弁護士になろうとするものであるときは、連合会に対する弁護士名簿の登録請求書を、所属弁護士会を本会に変更するものであるときは、弁護士名簿の登録換え請求書を、それぞれ入会申込書の提出と同時に正副2通ずつ提出しなければならない。

#### 第9条1項

前条に規定する弁護士名簿の登録請求書には、次の書類を正副2通ずつ添付しなければならない。

- (1) 履歴書
- (2) 戸籍謄本(外国籍の者については、外国人住民に係る住民票の写し)
- (3) 弁護士となる資格を証明する書面
- (4) 弁護士法第7条各号のいずれにも該当しない旨の証明書
- (5) 弁護士法第12条第1項各号及び第2項に掲げる事項に関する書面